

ごあいさつ

いつも阪神電車をご利用いただき、誠にありがとうございます。

当社は、その経営理念に「安心・快適」そして「夢・感動」を掲げており、常にお客さまの安心の最も重要な基盤である安全を最優先とした鉄道事業の運営に重きを置いてまいりました。これからも役員・社員一人ひとりがお客さまの“たいせつ”に寄り添い、それぞれの責務に対して誠実に取り組むことにより、日々の安全・安定輸送を継続してまいります。



阪神電気鉄道株式会社
代表取締役・社長

久須 勇介

さて2025年度は、「責任事故ゼロの継続」を安全目標とし、次のとおり、ハード・ソフト両面にわたり安全性の向上に取り組みました。

まず、ホームドアにつきましては、甲子園駅の全てのホームへの設置が完了しました。さらに、元町駅、住吉駅、鳴尾・武庫川女子大前駅においても設置が完了しました。今後も「鉄道駅バリアフリー料金制度」を活用し、整備を進めてまいります。このほか、阪神なんば線淀川橋梁の改築、高架橋の耐震補強、2027年春に導入する新型急行用車両3000系の代替新造などを進め、運転保安度の向上に努めました。引き続き、安全関連の設備投資を着実に実施してまいります。

また、安全重点施策を『ヒューマンエラーに起因する「事故の芽」事象の削減』、『自然災害及び鉄道テロ発生時等の異常時における対応力の強化』、『知識と技能の着実な継承』の3項目とし、それぞれ具体的な行動計画を定めて種々の取組みを推進しました。特に、沿線の自治体や学校関係者、沿線にお住まいの方々とともに、防災関連行事等を通じて連携を深めるなど、沿線の防災力の向上に注力しました。

2026年度は、人と人との繋がりをより強く意識できるよう『「伝える」「伝わる」が育む、心を繋ぐ安全』を安全重点施策の新たなテーマに掲げ、『操業・作業の実態把握によるヒューマンエラーの削減』、『「自助」「共助」による自然災害等の異常事態における対応力の強化』、『知識と技能の着実な継承による安全を支える人材の育成』の3点に全力で取り組むこととしています。これらの施策を着実に推進するために、職場内や部門間、ベテラン層と若年層間、更には沿線関係者の皆さまとのコミュニケーションを大切にしております。

このような取組みを通じて、引き続き、「責任事故ゼロの継続」を安全目標とし、お客さまに安心してご利用いただけるよう全役員・社員が一丸となって輸送の安全確保に努めてまいります。

本報告書は、鉄道事業法第19条の4の定めに基づき、当社の安全確保に関する取組みや鉄道の適切なご利用について皆さまにご理解いただくために公表するものです。ぜひ本報告書をご一読いただき、ご意見やご感想をお聞かせくださいますようお願いいたします。

2026年7月